



令和元年9月20日(金) 8・9号
能登町立柳田中学校
校訓:「進取」「協調」「努力」

感動の体育祭 & 力を発揮した部活動!

教室の廊下から見える桜の木。木のでっぺんについている葉の色が黄色に変わり始めました。教室を吹き抜ける風も、夏に吹いていた熱風から、秋のさわやかな涼風への変化を感じます。

先日の鳳珠郡・奥能登地区中学校新人体育大会では、野球部の優勝、卓球部男子個人戦の優勝とすばらしい成績でした。実りの秋。暑く、厳しい夏の練習を通して身に付けた力を発揮しました。また、後期の生徒会立会演説会が行われました。よりよい柳中にするための意気込みを感じる素晴らしい演説でした。

さて、好天に恵まれ、柳田中学校グラウンドに笑顔がいっぱいあふれた体育祭。その体育祭から、10日あまりが経ちました。

各学級では、一人一人の生徒が体育祭についての作文を書きました。それぞれの学年や立場で体育祭を振り返り、一人一人の思いが詰まったすてきな作文がたくさんありました。その作文の中から、いくつか紹介します。



達成感を得た体育祭

僕は3度目の体育祭のはずだったがなぜか、この体育祭が初めての体育祭に感じていた。それは、いままでは、上に仕切る人がいて僕はそれについていく感じだった。が今回は、僕が団長になり団員みんなをまとめて挑む体育祭だからであった。

遂に体育祭が始まり、僕の「せーの」の声で、行進が始まり、ようやくそこで体育祭が始まったという感覚が僕の中で湧いてきた。中2までは、緊張をし、腹をこわしたこともあったけど、今回の体育祭は今まで見ていた景色とは、また1つ違った景色が僕には見えていた。

「宣誓」と、大きな声で叫び、白団団長とともに言いはなった選手宣誓。全く練習では合わなかった『宣誓』の最初の言葉が、本番で合った時は、とても嬉しかったし、なぜかまだ始まったばかりなのに、達成感も同時に湧いてきた。

次に、競技に移りつた。なんとといっても、僕が競技の中で1番心に残っているのは、よさこいだった。僕たちは、よさこいを最初は余裕で僕の団のほうがキレもいいし、指先まで伸びているし、よさこいは勝ったなと思っていたら、中間発表で今まで見たこともないようなよさこいを見せられ、自信をなくしていた。けれど、最後まで諦めずにやって、よさこいを勝てたことはとても嬉しかった。

最後に、3年生になって最後の体育祭で、団長として最高の仲間たちと優勝できて、とても嬉しかった。

3年 紅団団長 井田 旺



団長の責務

今年は僕が団長だったこともあって相当気合が入っていました。実は、僕は小学校のころから優勝したことがなく、高校へ入る前の最後の体育祭なので優勝を目指して精一杯頑張ろうと誓っていました。でも、いざ練習が始まる時になると、オーストラリア研修と被ってしまい、7月一杯は練習できませんでした。でも、副団長や応援団長を中心に団をまとめてくれて、僕が帰ってきたころには、もうよさこいが仕上がっていました。覚えるのも、それを後輩たちに教えるのも大変だけど、初めて通してできたときには、すごい達成感がありました。

でも、いざ本番になると、最初の優勝旗を返すところから足が震えて大変でした。でも、最初で吹っ切れて、最後までリラックスして、楽しく終えることができました。

特に騎馬戦では、1対1で迎えた代表騎馬同士での戦いで、ビデオ判定の差で勝てたときには、もうみんなではしゃぎまわっていました。残念なことに、大綱引きや応援合戦で負けてしまい、結果は2位と結局勝てませんでした。でも、今までで一番一生懸命できたし、一致団結して頑張っていたと思うので、とても満足しています。体育祭が終わった後は、のどがガラガラで大変でした。

高校でこそ、初優勝したいと思いました。

3年 白団団長 仲谷 伶朗



最高の体育祭

中学校最後の体育祭。結果は準優勝。紅団には負けてしまったけど、生徒一人ひとりが一つになって力を合わせて行った体育祭でした。

夏休みから、3年生全員で案を出し、完成させたよさこいは、団それぞれの良さがあり、白団も全力で踊り、勝てる自信がありました。けど、負けてしまい、副団長として申し訳なくて涙が出そうでした。

ほかの競技の騎馬戦では、白団全員で作戦を考え、女子も男子も全力で戦いました。全力でやったから、勝ったときにはとてもうれしく団のみんなが喜び、称えあいました。柳中バトルファイターズでも、女子がやる時は男子が応援し、男子がやる時は女子が応援していたのを見ると、男女の壁を越えて、生徒全員が本気で競技をしていたので、本当に良かったと思います。クレイジージャーニーや、白塗りに注意など、個人競技でも笑いがあり、全体を通してとても楽しめたと思います。

しかし、私は後悔することがたくさんありました。団長や、3年生のみんなに最後の体育祭を勝たせてあげられなかったこと。体調を崩し、みんなに迷惑をかけてしまったこと。今では、副団長としてもっとできたことがあったのではないかと後悔しています。けど、解団式の時に、みんなが「楽しかった」と言ってくれて、涙が出ました。心残りはたくさんあるけど、私にとって最高の体育祭だったと思います。



まだ終わっていない

終わった気はまだしていない。中学生で最後の体育祭と前から言われていたがあまり実感はない。本番中にはいろいろあったが、常にみんなが笑顔だった。勝てると思っていた競技で負け、負けると思っていた競技で勝った。かなりスリルのある体育祭で、3年間で最も楽しいと感じた体育祭になった。

3年 紅団応援団長 中村 司

僕らの団は練習のときから声を出すことを大切にしていた。劣勢でも大きな声を出してきた。このことで白団と対等な戦いができたのだと思う。結局残るのは「勝ち」か「負け」だが、それは両団が全力で力を尽くしてきた結果、ついてしまうもので本当の体育祭の意味は、自分たちが楽しみ、見ている人も楽しませ、スッキリ終わらせることなのだということが3年生になってやっと理解した。なので盛り上がりについては、去年までに劣っていると思っていないし、思いたくない。会場にいた全ての人が笑顔で楽しめたと思う。

そして練習も、とても大変なことだった。よさこいを考え、覚える。団旗を作る。1、2年生に教える。体育祭をゼロからつくることの難しさを知った。後々考えると、順調に進むわけがないのだ。やったことがないのだから。それを自分たちの力でつくり上げることができたので、とても嬉しく感じた。

いろいろやりきったが、やはりまだ終わった気がしていない。



楽しかった体育祭

今年の体育祭は、負けたけどあまり悔しくない体育祭だったなと思います。理由は、白団みんなで、団結して楽しめたからです。特に、よさこいが楽しかったなと思います。夏休みから3年生が、頑張っておしえてくれ、たくさん練習してきた、よさこいが、本番上手く踊りきることができたからです。結果は、負けたけど、全力で、踊りきれたし、歌いきれたので、とてもいい思い出になりました。他にも、100メートル走で、3年生と、面白いレースを繰り広げられたのが印象に残っています。保護者も生徒のみんなも、笑ってくれていたし、そのほかにも3年生とのいい思い出も作れたので、とてもいい100メートル走だったと思いました。

体育祭をやってみて、正直最初は負けるかなと思っていたけど、3年生の頑張りや、いい勝負になったので、とても3年生の意地を感じました。この体育祭は、来年に向けてのいい経験になったし、いい思い出にもなったので、とても最高の体育祭でした。

2年 白団 虎谷 敦志



嬉しさが残る体育祭

私は体育祭がとっても楽しかったです。なぜかと言うと、今年は勝つことができたからです。去年も同じ紅団でしたが、負けてしまって解団式は涙で終わってしまいました。去年は楽しさよりも悔しさが大きかったので、今年は勝って嬉しさが残る体育祭にしたいと思っていました。また、去年よりたのしい体育祭にしたいとずっと思っていました。去年も楽しかったですが、今年は勝つことができたのでより楽しかったです。1年生の時はまだ種目をしっかり分かっていなかったりしてきちんと体育祭を楽しめなかったということもあるのかもしれませんが。

体育祭で私は3年生のようにみんなをまとめられるようになりたいと思っていました。3年生は私たちを楽しませてくれて私たちの見本となってくれました。私も3年生になったら皆が楽しめるような体育祭にしたいなと思いました。そのために、これから3年生を見て勉強したり、良いところをまねしたりしていくことで私が3年生になったとき自分や皆の満足がいくようにしたいです。

2年 紅団 三宅 友香



夢がかなった体育祭

令和初、柳田中学校体育祭は、とある夢がかなってしまったようだ。その夢までの進展をいま語ってほしいと思う。

・・・全てのきっかけはちょうど2年前。アホみたいな面をしていた小6の自分が、大人気競技「白塗りに注意」に出た。めちゃくちゃビビってしまい、面白くなかった。そのリベンジを胸にこれまたアホな面した中1の自分が再挑戦していた。自分では顔いっぱいにつけたつもりだった。

けれども去年とはほぼ同じ、面白くない顔だった。そしてその1年後「3度目の正直」の言葉を胸に3度目の「白塗りに注意」に出場した自分。前日の夜からデモンストレーションをやり続けた自分。さあ、いざリベンジのとき。ぐるぐるバットを10回転し玉を落とさずいった後について時はきた。顔いっぱいに白色をつけることに成功したのだ。ここまで長かった。感動したのもつかの間、汗で白色が溶けてきた。気持ち悪いがそれも達成感につながった。・・・

ということがあったのだ。夢がかなった楽しい体育祭だった。

2年 白団 山本 龍之介



充実した体育祭

僕は、体育祭で、とても充実して、楽しむことができました。

まず、一番楽しめたのは、クレイジージャーニーです。なぜかと言うと、ネットをくぐったり、かごにボールを入れて、借人をしたりと、充実していました。特に、借人の時に、面白いお題があったりしました。一番大変だったのは、綱引きです。結果は負けたけど、みんなで協力できました。それと応援では、みんなで大声が出せたし、うまく踊れました。

体育祭では、全体的には負けたけど、とても楽しめたし、みんなと協力できて、しかも、よさこいもうまくいったので、来年も、うまくいけるようにしたいです。

1年 白団 池田 紘希



初めての体育祭

初めての体育祭でした。たくさんの競技があって、その競技をみんなで協力して取り組めたことが楽しかったです。特に、ダブルハリケーンが楽しかったです。なぜかと言うと、初めのほうは、白団がリードして、紅団は負けていたけれど、最後は紅団が勝ったからです。それに、予行練習でやった時よりもチーム全体の声が出ていたし、ダブルハリケーンは待っている時間がないので、すごく良かったです。

ほかには、よさこいも楽しかったです。たくさん練習してきたので、本番に踊れた時は、すごく達成感がありました。小学校時とは全然違った部分が多かったのですごく楽しかったです。

来年の体育祭も楽しみです。初めての体育祭で緊張した部分もあったけど、終わってみたらすごく楽しかったです。来年は、

1年 赤団 田尻 菜々



もっと積極的に取り組みたいです。